

令和7年度 岐南町総合防災訓練について

自治会長の皆様には日頃から町政に対し、多大なご理解とご協力を賜り深くお礼申し上げます。

今回、自治会長様のご尽力により、「令和7年度 岐南町総合防災訓練」を11月9日（日）に各小学校体育館で無事終了することができました。これも一重に自治会長を始めとする役員など参加された方々のご尽力、ご苦労の賜物と心から感謝いたします。

今回の訓練は、昨年のアンケート結果を基に避難所の開設・運営について行われました。特に「トイレ」と「スペース取り」に関する知識を深め、自助・共助の意識と行政との協力を強化することを目指しています。また、地域防災リーダーの育成も目的としています。訓練後のアンケートから得た自治会長の意見を今後の訓練に活かす予定です。

アンケートについては、返信総数26件で、次のとおりの結果となりました。また、意見について、町としての考え方を記載しますので、ご理解をいただきたく思います。

設問1 訓練の内容は如何でしたか					
○ 満足		記 載 数	11	割 合	42.3%
			12		46.2%
			2		7.7%
			1		3.8%

×を記入または意見のある方の内容（意見総数2）

- ・トイレやパーテーションの組立を行っただけで何の訓練になるのか。
- ・特に訓練が必要な内容とは思わなかった。との意見でした。

町の考え方としては、2年前から始めた防災訓練に基づき、自治会員が避難所を設置・運営できるよう訓練を計画しています。避難所の運営は避難者による自主運営ですが、地域住民の協力が重要となります。訓練に参加した人がリーダーとして他の自治会員を指導することが増えており、避難所運営への理解されている方も増えていると感じています。アンケートでは、自治会長の88.5%が訓練に概ね満足しており、今後も同様の訓練を続けていきたいと考えております。

設問2 訓練の分かり易さは如何でしたか					
○ 易しい		記 載 数	17	割 合	65.4%
			8		30.8%
			0		0.0%
			1		3.8%

×を記入または意見のある方の内容（意見総数0）

避難者等のために組立て方法を知ってもらうため、今後の防災訓練に少しでも多くの方に備品に触れていただけるよう努めます。また、自治会の防災訓練を活用し、誰もが防災備品を取り扱えるようにも努めていきます。

設問3	他の自治会との連携について「上手くできた」、「上手くできなかつた」と思うことを記入ください
	回答なし

「上手くできたこと」の内容（意見総数19）

意見内容は、ほとんどが備品の組立ができしたこと、他の自治会員と連携・協力し合え、組立てることができたこと。との意見でした。

「上手くできなかつたこと」の内容（意見総数9）

意見内容は、特に会話がなかった、連携する訓練では無いという意見、消防団の方がリードしてくれたため、自治会員の連携は意識してなかつたという意見、ワンタッチパーテーションの収納がうまくできなかつたという意見、同じ人物が多くなってしまうという意見がみられました。

町の考え方としては、今後も防災訓練において地域の方々が連携・協力し合える方策を防災委員と協議し、積極的に関われる訓練計画の作成に努めています。

設問4	訓練内容である、スペースの取り方や防災備品の使用法や組立てについて
○	知識、経験となった
△	どちらかというと役立った
×	難しい
	回答なし

×を記入または意見のある方の内容（意見総数0）

町の考え方としては、少しでも多くの方に知識と経験を習得していただくため、同じ訓練を繰り返し行うことや詳細な説明をすることに努めています。

設問5	自治会の自主防災訓練などで、避難時設置・運用訓練を行った場合、地域リーダーとして活動できると思いますか
○	できる
△	どちらかというとできる
×	難しい
	回答なし

×を記入または意見のある方の内容（意見総数3）

意見内容は、自身が被災するし、平常時とは違う。町職員、消防団員の助けを借りての訓練だったが、自治会のみの活動で、次々と必要となる事態に対応できる自信が無いです。との意見でした。

町の考え方としては、避難所運営に関する理解と経験を深めるために時間をかけて取り組んでいます。自治会の防災訓練では、一部で同様の訓練が行われ、積極的に指導や協力をしてくれるリーダー的な方も育成されていると考えています。また、防災備品の取り扱いや知識を持つ人も増えていると感じています。今後も自治会の相談に応じて協力に努め、知識や実技の習得を支援していきます。

設問6	今後の避難所設置・運営訓練で取り入れると良いと思われるなどを記入願います
	回答なし

(意見総数19)

意見内容は、避難所設置・運営訓練はこのままで良いとの意見、さらに訓練に採り入れるべき事例と

して、段ボールベッドの組立て、避難所の運営・受付についての図上演習、非常電源及び照明、情報（ラジオ等）、携帯受電コンセントの設置訓練、救護訓練（AED取扱い、心肺蘇生法）、受付・要配慮者の見分け方、救援物資の要望、受入れ、被災者への配分訓練など、多種多様のご意見のほか、訓練の在り方について、全自治会員向けの総合訓練（避難）・避難所の運営訓練、訓練回数を増やす等、また、町への要望としてパーテーション・テント・トイレ等の防災資機材がどこにどれだけあるのか、各避難所にテント、トイレなど資機材の備蓄をもっと増やす、設営スペースの設営の中で、スペース内で必要となる寝具等についての解説も欲しかったというご意見をいただきました。

町の考え方としては、まずは避難所設置・運営訓練の継続が重要と考えています。特に、過去の震災で問題となった「トイレ不足」に対処するため、簡易トイレ（2種類）を災害初期に活用する訓練を実施しています。今後も訓練メニューを徐々に増やしながら、またはリアルタイムな訓練対応をしていきたいと考えています。また、訓練場所、対応する職員数を鑑みると避難所設置・運営訓練は多人数での訓練は難しいため、ご理解をいただきたく思います。ぜひ、自治会の自主防災訓練をご活用していただきたいと思います。

設問7 その他訓練に対するお気づきの点などご記入ください				
回答なし		9		34.6%

(意見総数31)

意見内容は、各防災備品の組み立て等は、役に立ってよかったです、防災に関して、自助の大切さが分かりましたという意見がありました。また、苦情として資料の文字ポイントが小さい、防災無線からの放送が聞き取れない、町長も参加して話があったが、紹介がなかったので気づかなかった、訓練時間についてもう少し具体的に文面へ記載するとの意見がありました。その他の意見として、自治会全体にも町として訓練が必要では、地域リーダーを育てると共に、より多くの町民に避難訓練を体験してもらう機会を作る必要があるのではないか、避難所のバリアフリーを考える必要がある、避難所に必要な物資を置かなくては意味がない、防災備品の各校区に分散管理をしては、参加者が年配の方ばかり、若い世代の方も参加してもらいたい、等たくさんのご意見をいただきました。

町の総合防災訓練に関する考え方は、設問6で記載してあることに変わりはありません。苦情のあった事案（下線）については、できるだけ早い改善と対応を心がけます。

また、避難所設置・運営は、基本的に避難者による「自主運営」ですが、職員の「力」だけでは対応が難しいため、地域住民の協力が必要不可欠です。

訓練は自治会員を対象に行われますが、実際の災害時には非自治会員（岐南町民）、隣町（厚見）の住民、交通機関や事業所からの帰宅困難者も含まれますので自治会員のための訓練ではないことをご理解ください。

最後に、若い世代の訓練参加についてですが、本年は西小学校4年生の総合学習や岐南中3年生で防災に興味ある学生を対象に防災に関する講話や防災備品の体験を実施しました。自分の命を守り、地域を守ることを意識してもらい、率先して地域活動に貢献してもらえるようお願いしました。